



教保体第429-2号  
令和4年5月30日

各市町村教育委員会教育長  
各教育事務所（支所）長 } 様

埼玉県教育委員会教育長

オミクロン株が主流である間の部活動における公式大会等参加  
への対応の一部変更等について（通知）

日頃より新型コロナウイルス感染症の対策について、適切かつ迅速な対応をいただいていることに感謝申し上げます。

さて、オミクロン株が主流である間の部活動における公式大会等参加への対応の一部変更等について、別添のとおり各県立学校長あて通知しましたので、参考送付します。

【感染防止対策に関すること】

担 当 保健体育課 健康教育・学校安全担当

電 話 048-830-6963

【運動部に関すること】

担 当 保健体育課 学校体育担当

電 話 048-830-6947

【文化部に関すること】

担 当 高校教育指導課 教育課程担当

電 話 048-830-7391

【特別支援学校に関すること】

担 当 特別支援教育課 特別支援学校教育指導担当

電 話 048-830-6886

【文化部（中学校等）に関すること】

担 当 市町村支援部 義務教育指導課 教科書担当

電 話 048-830-6746



教保体第119-2号  
令和4年4月15日

各市町村教育委員会教育長  
各教育事務所（支所）長 } 様

埼玉県教育委員会教育長

オミクロン株が主流である間の部活動における公式大会等参加  
への対応について（通知）

日頃より新型コロナウイルス感染症の対策について、適切かつ迅速な対応をいただいていることに感謝申し上げます。

さて、オミクロン株が主流である間の部活動における公式大会等参加への対応について、別添のとおり各県立学校長あて通知しましたので、参考送付します。

【運動部に関すること】

担 当 保健体育課 学校体育担当

電 話 048-830-6947

【文化部に関すること】

担 当 高校教育指導課 教育課程担当

電 話 048-830-7391

【特別支援学校に関すること】

担 当 特別支援教育課 特別支援学校教育指導担当

電 話 048-830-6886

【感染防止対策に関すること】

担 当 保健体育課 健康教育・学校安全担当

電 話 048-830-6963

【文化部（中学校等）に関すること】

担 当 市町村支援部 義務教育指導課 教科書担当

電 話 048-830-6746



教保体第119-1号  
令和4年4月15日

各県立学校長 様

埼玉県教育委員会教育長

オミクロン株が主流である間の部活動における公式大会等参加  
への対応について（通知）

日頃より新型コロナウイルス感染症の対策について、適切かつ迅速な対応をいただいていることに感謝申し上げます。

現在においても、新型コロナウイルス感染症陽性者数は、高い水準で推移しており、予断を許さない状況にあります。

しかしながら、全国大会・関東大会及びそれらの予選大会やコンクール等（以下「公式大会等」という。）は、部活動の成果を発揮する貴重な場であることに鑑み、オミクロン株の特性を踏まえ、感染防止対策を改めてより一層徹底強化することにより、その機会の確保に努めつつ、当面、公式大会等への参加について下記のとおり対応することとしますもので、お知らせします。

なお、本通知は、県教育委員会としての基本的な対応方針を示すものであり、各大会主催者のそれぞれのガイドライン等による参加条件を満たさない場合には、参加することはできないことに留意願います。

記

1 感染防止対策の重点取組

(1) 体調不良者等の参加禁止

陽性者及び家庭内に体調不良者（未診断の発熱・咽頭痛等）がいる者は、部活動に参加しないこと。

(2) 活動場所の換気の徹底

屋内運動競技での感染事例が多いことを踏まえ、サーキュレータ等を活用し、常時又は定期的な換気を徹底すること。

(3) 感染防止対策なしでの会話・飲食の禁止

更衣場面、休憩場面、活動前後、登下校時等において、マスクを着用しないなど感染防止対策を行わずに会話をしたり、飲食をともにしないこと。

各県立学校長 様

埼玉県教育委員会教育長

オミクロン株が主流である間の部活動における公式大会等参加  
への対応等について（通知）

日頃より新型コロナウイルス感染症の対策について、適切かつ迅速な対応をいただいていることに感謝申し上げます。

第6波に伴うまん延防止等重点措置の解除後、陽性者の発生は減少傾向であるものの新型コロナウイルス感染症の流行は長期に渡り続いている状況にあります。

しかしながら、全国大会・関東大会及びそれらの予選大会やコンクール等（以下「公式大会等」という。）は、部活動の成果を発揮する貴重な場であることに鑑み、オミクロン株の特性を踏まえ、感染防止対策を改めてより一層徹底強化することにより、その機会の確保に努めつつ、当面、公式大会等への参加について下記のとおり対応することとしますので、お知らせします。

なお、本通知は、県教育委員会としての基本的な対応方針を示すものであり、各大会主催者のそれぞれのガイドライン等による参加条件を満たさない場合には、参加することはできないことに留意願います。

## 記

### I 陽性者発生時の対応について

#### 1 感染防止対策の重点取組 （ガイドライン 8（2）ア（イ）、（3）イ）

##### (1) 体調不良者等の参加禁止の徹底

体調不良者及び家庭内に陽性者又は体調不良者（未診断の発熱・咽頭痛等）がいる者は、部活動及び公式大会等に参加しないこと。

##### (2) 活動場所の換気の徹底

屋内運動競技での感染事例が多いことを踏まえ、サーキュレータ等を活用し、常時又は定期的な換気を徹底すること。

##### (3) 感染防止対策なしでの会話・飲食の禁止

更衣場面、休憩場面、活動前後、登下校時等において、マスクを着用しないなど感染防止対策を行わずに会話をしたり、飲食をともにしたりしないこと。

## 2 公式大会等への参加に向けた感染防止対策の徹底強化 (ガイドライン 8(3)イ(イ))

公式大会等に参加を予定する部活動は、公式大会等の14日前から部員の「健康チェックシート(様式1)」及び部活動の「感染防止対策徹底シート(様式2)」を校長に提出し、感染防止対策を徹底強化する。

## 3 陽性者発生時の活動停止 (ガイドライン 8(2)ア(ウ))

部員に1人目の陽性者が発生した場合には、陽性判明後、原則3日間活動を停止する。また、当該期間中に2人目の陽性者が発生した場合は、部活動停止期間を2日間延長し、5日間とする。

部員に1人目の陽性者が発生した場合において、既に他に複数の体調不良者がいるなど、状況に応じて校長が3日間を超えて活動を停止することは妨げない。

ただし、当該陽性者が感染可能期間(※)に部活動に参加していない場合は、活動停止の必要はないこと。

なお、同一の部活動であっても、陽性が判明した生徒と移動・更衣・練習等が全て別の集団として活動しているグループ(チーム等)については、活動停止の対象としないこと。

※ 感染可能期間は、発症2日前(無症状者の場合は、陽性確定に係る検体採取日の2日前)から退院又は宿泊療養・自宅療養の解除を満たすまでの期間とされている。

## 4 濃厚接触相当の者及び体調不良者の特定 (ガイドライン 8(2)ア(ウ))

(1) 部員に陽性者が発生した場合には、速やかに濃厚接触者相当の者及び体調不良者(未診断の発熱・咽頭痛等を含む。)を特定すること。

(2) 濃厚接触者相当の者については、原則として、マスクを着用しないなど感染防止対策を行わずに陽性者と会話をしたり、飲食を共にしたりした者等とすること。

(3) 部活動(各種教育活動)において、感染対策を講じて行われている通常の活動での接触は、原則として濃厚接触相当としない。

ただし、競技の特性に基づき、競技団体等が指定する濃厚接触者相当となる場合の有無を考慮すること。

## 5 無症状者の無料検査受検の推奨 (ガイドライン 8(2)ア(ウ))

活動停止期間の短縮に伴い、活動再開後の無症状者を介した感染拡大の可能性が高まることに留意が必要である。

陽性者発生に伴い活動停止となった部においては、部活動内での感染拡大防止のため、無症状者(濃厚接触者相当の者及び体調不良者を除く)について、「埼玉県PCR検

査等無料化事業(別添リーフレット)」を活用して無料検査を受検することを推奨する。

無料検査を推奨する期間については当分の間とする。

#### (1) 検査の受検

部活動の活動停止に際しては、生徒及び保護者に対し、顧問等を通じて無料検査の利用方法を周知する。(別添リーフレットを活用)

また、無料検査を受検した生徒は、原則として学校(顧問等)に検査結果を報告する。検査結果が陽性であった場合については、生徒(保護者)に、速やかに医療機関を受診するよう指導する。

学校は、無料検査の検査結果を活動停止期間の延長を検討する際の参考とする。

なお、必要に応じて顧問の受検も推奨する。受検を推奨するに当たっては以下の点に留意すること。

ア 生徒及び保護者に対し、趣旨を説明すること。

イ 受検は任意であることに留意し、受検を強制しないこと。

ウ 無料検査の対象は県内在住者に限られることなど、受検に際しての留意点について、リーフレット等を活用し、説明すること。

#### (2) 検査状況の報告

学校は、生徒から検査結果の報告を受けた場合は、部活動毎に検査結果報告者数を整理し、以下のとおり、県教育委員会(保健体育課)に報告する。

報告を要する期間は当分の間とする。

##### ア 報告の対象

生徒から結果の報告があった学校

##### イ 報告日

毎週月曜日(前週月曜日から日曜日までの7日間の検査結果報告者数)

※月曜日が祝日の場合は、翌平日

##### ウ 方法

アンケートシステムによる報告

【リンク先】<http://smart/smart/eq.asp?U=3003005064056404883>

##### エ 報告内容

月曜日から日曜日までの7日間における部活動毎の検査結果報告者数

(入力項目)

①学校名 ②入力者職名 ③入力者氏名 ④部活動名 ⑤男女別 ⑥検査結果報告者数

### 【参考】無料検査受検報告の流れ（例）



### 6 部員の出席停止（ガイドライン 8（2）ア（ウ））

- (1) 4により特定された濃厚接触者相当の者については、当該陽性者との最終接触日の翌日から7日間出席停止する。
- (2) 体調不良者等については、速やかに医療機関を受診するものとし、症状消失後48時間（発熱については、解熱剤等を服用せずに発熱のない状態で48時間を経過）を経過又は医療機関によるPCR検査等による陰性確認までの間出席停止とする。
- (3) 部活動内で感染が広がっていると判断される場合は、当該活動停止期間、無症状者も含めた部員全員を出席停止とすること。
- (4) 部活動内での新規陽性者や体調不良者の発生が続いている場合には、必要に応じて出席停止期間の延長を検討すること。

### 7 活動停止期間中の公式大会等への参加（ガイドライン 8（4））

活動停止後5日後までの間に公式大会等に参加する日がある場合については次のとおり対応する。

- (1) 公式大会等の前2日間における部員全員の健康状態の詳細を確認し、体調不良者等を特定すること。
- (2) 6(1)及び(2)で特定した出席停止対象者及び7(1)で特定した体調不良者等以外の者は、原則として公式大会等に参加できるものとする。その際、新たな体調不良者等が参加することのないよう指導を徹底すること。
- (3) 感染への不安等から大会への参加をためらう生徒に対して、参加しないことを安心して選択できるようにすること。
- (4) 公式大会等の2日前の日以降に陽性者が発生した場合は、次のとおり対応する。
  - ア 直ちに濃厚接触者相当の者及び体調不良者を特定する。
  - イ アで特定された者以外による公式大会等への参加について、教育委員会及び大会主催者等と協議する。
  - ウ 協議に当たっては、大会等での感染拡大や対戦相手等への感染リスクの回避を最大限考慮する。
  - エ 公式大会等参加日の前日までに協議が終了しない場合、部活動として参加する

ことはできない。

- (5) 集団感染（5人以上の陽性者）が発生した部活動は、参加することはできない。

## **8 活動停止中における公式大会等への参加の考え方 （ガイドライン 8（4））**

- (1) 公式大会等への参加は、そのための準備（事故・怪我の防止のための必要最小限の調整及び参加のために必要不可欠な事前準備に限る。（以下「準備」という。））を含む。
- (2) 準備は、活動停止後3日目以降からとすること。
- (3) 準備は、6 (1) 及び(2) で特定した出席停止者以外の者のうち、公式大会等への参加者登録メンバーに限るものとし、必要最小限の時間及び内容とすること。
- (4) 準備を行うに当たっては、開始前の健康観察を徹底し、体調不良者等は参加させないこと。

## **9 臨時休業の対象学級等に在籍する生徒の公式大会等への参加 （ガイドライン 8（4））**

- (1) 臨時休業の対象学級・学年に在籍していることのみをもって参加を不可とはしない。

ただし、当該臨時休業に係る陽性者の発生に伴う濃厚接触者 又は濃厚接触者相当の者 及び公式大会等の2日前の日以降に症状がある者（体調不良者等）は参加できない。

また、学校内で感染が広がっている可能性が高い場合に措置として全学年を閉鎖する「学校閉鎖」の期間中は、参加を不可とする。

- (2) 公式大会等が平日に実施される場合においても同様の対応とする。
- (3) 臨時休業期間中の公式大会等への参加については、本人が参加する日に限るなど必要最小限の範囲とすること。
- (4) 臨時休業の対象学級・学年に在籍している生徒については、準備に参加することはできない。

## **1.0 公式大会等に参加する場合の対応 （ガイドライン 8（4））**

公式大会等に参加する場合は、最大限の感染防止対策を講じるとともに、次の対応を徹底すること。

- (1) 健康観察
  - ア 体調不良者は参加させない。
  - イ 生徒の体調の変化を速やかに把握できる連絡体制を整えておく。
- (2) 大会等の会場での滞在
  - ア 控室やテント内等の狭い空間での待機等を行わない。
  - イ 会場での昼食等を含む飲食の場面での感染防止対策を徹底する。
  - ウ 会場への滞在を最低限の時間とし、参加後は速やかに帰宅する。



エ 直行直帰を徹底する。

## 1 1 運用開始日

令和4年6月1日

なお、3，5，7については、6月1日以降に活動停止となる事例から適用する。

## II 泊を伴う活動の実施について（ガイドライン 8（2）ウ）

### 1 合宿における感染防止対策

- (1) 体調不良者は参加させない。
- (2) 実施前から実施後も継続して健康観察を徹底する。（例：Google classroomや健康チェックシートを活用する 等）
- (3) 合宿の実施に当たっては、実施計画に基づき、活動時をはじめ、食事・入浴・就寝等の宿泊時や活動時における感染防止対策を徹底する。（例：複数回の検温、食事時の対策等）
- (4) 旅行者等を介さない校内合宿等は、食事・入浴・トイレ等の衛生管理、大部屋での宿泊時に密な環境となることなどが考えられるため、校長が慎重に判断する。また、食事に際し、原則自炊は行わない。

### 2 その他合宿実施における留意事項

- (1) 陽性者や濃厚接触者等が確認された場合の対応
  - ・陽性者発生に伴い活動停止となった場合には、当該期間に予定している合宿は中止とする。
  - また、合宿期間中に陽性者が確認された場合は、活動を停止するとともに、可能な限り速やかに帰校する。
  - ただし、公式大会等に参加する場合は、上記Ⅰの7に準ずる。
  - ・陽性者や濃厚接触者等が確認された場合の対応について、事前に旅行先や契約業者としっかり連携するとともに、学校の対応策（マニュアル）を作成し、教職員で共通理解を図ること。
  - ・実施前から実施後に陽性者が確認された場合、速やかに県へ報告する。
- (2) (1)の学校の対応策（マニュアル）については、合宿等の中止や延期に伴うキャンセル料の保護者負担が発生することや合宿中に陽性になった生徒の引き取りを依頼するなど、事前に保護者の十分な理解を得ることが必要なことから、丁寧に説明し、参加する場合には必ず保護者の同意を求める。
- (3) 校外行事実施届の提出を伴う合宿の引率教員数は、保健責任者を含め原則最低2人とし、2人以上の教員が引率できない場合には中止する。

**【感染防止対策に関すること】**

担 当 保健体育課 健康教育・学校安全担当

電 話 048-830-6963

**【運動部に関すること】**

担 当 保健体育課 学校体育担当

電 話 048-830-6947

**【文化部に関すること】**

担 当 高校教育指導課 教育課程担当

電 話 048-830-7391

**【特別支援学校に関すること】**

担 当 特別支援教育課 特別支援学校教育指導担当

電 話 048-830-6886